

安来高校植物図鑑（2021年6月）



和名: ノアザミ（野薊）

アザミの仲間は日本で150種類以上あるそうですが、その多くは秋に咲きます。春から初夏にかけて野山で咲いていたなら、ノアザミの可能性が高いです。花のつけ根の部分が少しベタベタするのが特徴です。名前の由来は諸説あるのですが、葉に棘があり、触ると刺さって「あざむ(驚き興ざめする)」から、という説がよく知られています。そういえばいつも真横から写真を撮るので、今回は真上からも撮ってみました。蕾が刺々しいにもかかわらず可愛らしく見えたので、その写真も載せておきます。



真上から見たところ



刺々しい蕾

和名: オオニワゼキショウ（大庭石菖）

オオニワゼキショウは、ニワゼキショウ（2021年5月に紹介）と同じアヤメ科ニワゼキショウ属で、ニワゼキショウより背が高いため名前に「オオ」がついています。そしてニワゼキショウと同じで一日花（一日で咲き、閉じる花）で、明治時代に観賞用として渡来しました。この花の特徴は、日当たりのよい道端や芝生に生え、北アメリカ原産の多年草



（2年以上同じ株から花を咲かせる植物）で、直立せず、やや倒れ気味のことが多いことです。ニワゼキショウとの違いは、より小さい直径0.8~1.2cmの花をつけるということです。

くここの文章を執筆したのは、自然科学部に入部した1年生の原大賢くんです！初めてなのに上手で感心しました。補足しておく、ニワゼキショウの花は紫色か白色ですが、オオニワゼキショウの花は淡青色です。そして果実の大きさがニワゼキショウより圧倒的に大きいので見分けることができます。左の写真が花に対する果実の大きさを表現できているのではと思いますが、いかがでしょうか。>



和名: ムラサキツクサ（紫露草）

早朝から咲き始め、午後にはしぼんでしまう花です。園芸種として栽培されていることが多く、住宅の庭でよく見かけます。花の中央に見える黄色いものはおしべの葯で、さらにその周りにはおしべから枝分かれした糸くずのような毛がびっしりと生えています。ムラサキツクサといえば、生物学では実験材料として有名です。おしべの毛を顕微鏡で観察すると、細胞質流動（細胞の中身が流れている様子が見える）が観察できます。運が良いと、毛の先端で体細胞分裂が見られます。さらに葉の裏の薄皮を剥いで顕微鏡で見ると、気孔が容易に観察できます。しかも大量に。久しぶりに顕微鏡で観察してみようかな、と思わせてくれました。



和名: シロツメクサ (白詰草)

江戸時代にオランダから徳川家に贈られたガラスの器を守るために、箱の中の詰め物として使われていたことから名前がつけました。今では世界中に牧草として広まっています。ご存じとは思いますが、クローバーのことです。今までに勤務した学校ではクローバーが大量に生えていましたが、なぜか安来高校にはクローバーが少なく不思議に感じています。幼少の頃は花を摘んで花輪を作って頭に掛けていました。幸運を求めて四つ葉のクローバーを探したことがある人も多いと推察します。私が安来高校に赴任した年に、理系で生物を選択していたある生徒が、安来運動公園で見つけた四つ葉のクローバーを学校まで届けてくれたことがありました。大変嬉しかったです。今でも押し花として保存してあります。安来高校の生徒は優しいなあと思った出来事でした。

和名: ヒナギキョウ (雛桔梗)



日当たりの良い道端や堤防などに生える花で、場所によっては40cm程度まで伸びます。安来高校の個体は10cm程度だった

ので小さめです。キキョウに似ていますがキキョウより花が小さくて可愛らしいことから、名前に「ヒナ」がつけました。細長い茎の先端に1つだけ花が咲きます。その茎の細さから、風にゆらゆらと揺れて、写真に収めるのが困難な花です。安来高校では頻繁には見かけないので、個体数が少ないのだと思います。もう少しピントの合った写真ならよかったですのですが、風が強く私の技術では無理でした。

和名: マンテマ

江戸時代にヨーロッパから渡来した植物で、次第に野生化していったようです。花弁は白色で、中央に紅紫色の大きな斑点があるのが特徴です。海岸沿いの道端に群生していることが多く、こちら辺では中海沿いの道端でよく見かけます。萼筒(がくとう)



と呼ばれる花の付け根のところにシマシマ模様があり、とても目立ちます。斑点が無く、花弁が白色のみのものはシロバナマンテマと呼ばれます。シロバナマンテマは私の生活圏ではあまり見かけません。名前の由来がわかっておらず、漢字名はありません。

安来高校にはグミの木があります。先日、掃除の時間にゴミ捨てに行った生徒が実を持ち帰り、「先生これ何？」と聞くので「グミだよ」と答えました。その反面、グミを知らないことに少し驚きを感じました。私は小学生の時、グミを採って食べた経験があります。残念ながら当時はそれほど美味しくなかったです。安来高校のグミはどうでしょうか？大量の実がぶら下がっており、重みで枝が垂れ下がっているように見えます。リサイクルステーションと校舎の間にありますので、ぜひご覧ください。一見の価値はあると思います。

